

2014年度 NP0法人 寺子屋in長万部 活動報告 前半(8月8~9日)

私達の活動も3年目となり、今年は副理事長が盛岡駅で招待者と合流し長万部に出発しました。

8月8日から11日までの4日間、7家族18人の方々を長万部町に招待して北海道の夏を楽しんで頂きました。

1年目は9人、昨年は13人と参加人数も増えて、私達の活動の輪が広がって来たのを感じました。

◆8月08日 盛岡より長万部に向かう



函館駅で、スーパー白鳥5号から北斗9号に乗り換え、15:18長万部駅に到着
長万部駅で幡野理事長・幡野事務局長・スタッフが出迎え

◆8月08日夕方 理科大長万部校舎に到着し、開校式を行う



理科大長万部校舎のエンタランスホールに到着し、スタッフが出迎えて受付を済ます



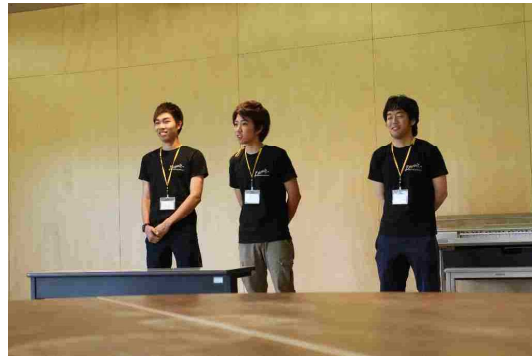
開校式が始まり、理事長の挨拶



副理事長と長万部のお母さんスタッフ



書道教室担当の井坂夫妻の挨拶



学生アルバイトの3人



開校式のエソール会館



長万部スタッフ



3回目参加のOさん家族



3回目参加のGさん家族



初参加のMさん家族



2回目参加のNさん家族



2回目参加のSさん家族



初参加のYさん家族

◆8月9日朝 理大食堂で朝食



スタッフ達と理科大食堂で朝食



朝7時半 招待者・スタッフと一緒に理科大食堂にて朝食

◆8月9日朝 貸切りバスでニセコ方面に出発

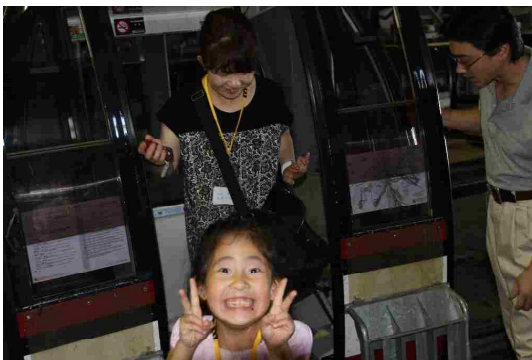


朝8時理科大管理棟玄関前から出発

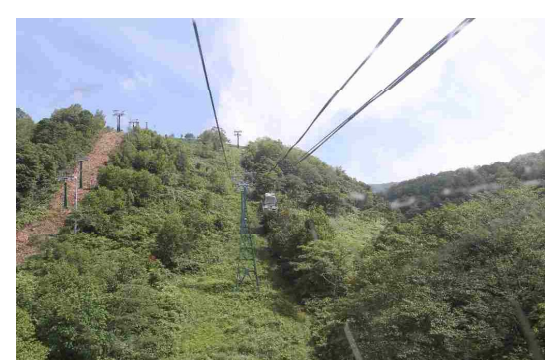


雲のかかった羊蹄山が見えて来ました

◆8月9日午前 ニセコゴンドラに到着、ケーブルで山頂へ



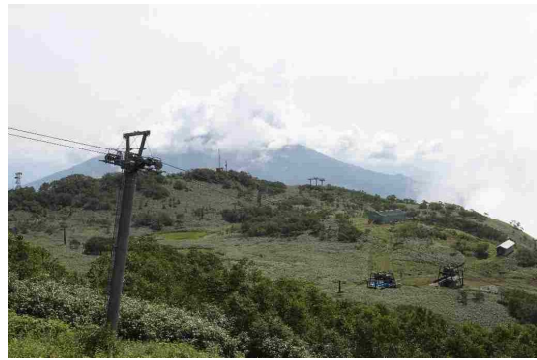
ケーブルから降りるYさん親子



山頂に向かうケーブルからの景色



山頂にて



山頂より見る雲のかかった羊蹄山



山頂にてみんなで集合写真

8月9日昼前 京極噴出公園へー



羊蹄山の雪解水がこんこんと湧くおいしい水を飲んだり・ペットボトルに汲んだり

◆8月9日昼 黒松内のチーズ工房 アンジュド・フロマージュで昼食



黒松内の草原に建つチーズ工房



レストラン入り口



バイキング形式の昼食



男の子達はすっかり仲良くなり一緒に



工房の庭には山羊さんや牛さんが



お腹いっぱいになって山羊さんと

◆8月9日午後 黒松内のブナセンターへ



お腹がいっぱいになったあとはブナセンターに移動



ブナセンターについて

日本のブナは、南は鹿児島県大隅半島から北は北海道渡島半島まで分布します。寿都と長万部を結ぶ「黒松内低地帯」がブナの北限なのです。歌オオトブナ林はブナ自生北限地帯を代表する森として、昭和3年に国の天然記念物に指定されました。

およそ1万年前の最終氷期に東北南部にあったブナの北限は、その後気候の温暖化にともなって少しずつ北進してきました。ブナが函館に到達したのが約6000年前、歌才には1000年前に到達したことがわかっています。現在もブナは北進の途上であるとのこと。近年の地球温暖化の影響も含め、500年後、1000年後にブナの北限はどう変化しているでしょうか？4月下旬から5月上旬にかけては、「スプリング・エフェメラル」と呼ばれるカタクリなどの花が次々と咲きます。図鑑を片手に歩いてみてはいかがでしょうか。夏になるとランやイチヤクソウの仲間が、ひっそりと咲いています。木の幹や落ち葉の下などにいる生き物にも目を向けてみましょう。9月下旬から木々の紅葉がはじまります。10月後半がブナの黄葉の見ごろ。11月上旬には、ブナの葉は落ちています。冬、雪に覆われた冬のブナ林は、かんじきをはいて散策します。ほかの季節では行けない場所でも、自由に歩くことができます。



まず最初は ブナの音色が聞ける ブナの手回しオルガンの演奏を体験



次に 全員で鳥の疑似音を出して野生の鳥たちを誘い出す バードコール作り
まず先生の説明を聞いて ノコギリで木の枝を切ります



ドリルで穴を開け、ボルトをはめて回すと鳥の疑似音が出て来ました

◆8月9日夕方 長万部の飯生神社にて松前神樂を見学



開飯生神社の鳥居



神樂の案内板



神社の入口



神樂開始



神樂の衣装



神樂を踊る巫女さん



最後に獅子舞の獅子が出て来て、子供達の所に襲いかかり その後お菓子を頂きました。

